

漁業後継者育成研修事業

小笠原 大郎・伊藤 良博

目 的

漁業者の減少と高齢化が進行し、漁業後継者が不足していることから、本県水産業の維持・発展を図るため、短期研修(通称「賓陽塾」)を実施し、優れた漁業者を確保・育成する。

研修結果

1 通常研修

漁業に就業して間もない人、漁業への就業を希望している人を対象に、基礎的な漁業技術・知識習得のため実施した。

(1)研修期間 平成24年5月31日～同年8月1日(休日を除く計43日)

(2)受講生 毎日受講する研修生10名、希望科目のみ受講する聴講生10名の計20名であった。

研修生の出身地は平内町4名、六ヶ所村3名、青森市1名、野辺地町1名、東通村1名であった。聴講生の出身地は平内町であった。

(3)修了生 全開講日数の半数以上を出席した者に修了証書を授与した。

修了生は6名で、出身地は平内町2名、青森市1名、野辺地町1名、六ヶ所村1名、東通村1名であった。

(4)研修内容

- ・講義 水産に関する基礎知識、漁業関係法令・制度、水難救助など(表1)
- ・実習 沿岸漁業(さし網、かご、釣り)、ロープワーク、漁具補修など(表2)
- ・視察 県内の水産関連施設(表3)

2 選択研修

漁業への就業に必要な資格の取得、技術等のレベルアップのため実施した。

- ・資格取得講習 一級・二級小型船舶操縦士、第三級海上特殊無線技士、潜水士(表4)
- ・現地漁業実習 なし(受講希望者がいないため)

3 出前講座

通常研修を受講することが困難な、遠方(日本海、三八、下北地区)の漁業者を対象に、漁業技術のレベルアップのため、現地においてロープワーク等の技術講習を実施した(表5)。

表 1 講義

月日	午前(※)	午後		
	内容	内容	講師	所属・氏名
6月1日	方位について	ほたて貝天然採苗技術について 水産総合研究所の概要	水産総合研究所	吉田ほたて貝部長
6月4日			水産総合研究所	上原子企画経営監
6月5日	船舶用語、漁法について	貝毒について 漁業制度の概要、栽培漁業・資源管理について	水産振興課	高坂主任研究員
6月11日			水産総合研究所	對馬GM、高橋技師
6月18日	ホヤ人工採苗養殖について	海図の知識 ホヤの養殖について	水産総合研究所	小笠原技師
6月25日			水産総合研究所	伊藤総括研究管理員
7月2日	海図の知識・使い方	漁業士の活動について	東青漁業士会	田中副会長
7月19日			東青漁業士会	田中副会長
7月20日	海図の使い方	海難事故防止について	青森海上保安部	警備救難課・交通課職員
7月26日	〃			
7月30日	〃			

※午前の講師は、「賓陽塾」担当者。

表 2 実習

期間	内容		
	ロープワーク等	漁業	船舶操船・その他
6月1日～6月30日	基本的な結び方、石・玉からめ 各種ロープ(三撚り、クロス)の接合 結索標本製作	かご、さし網、釣り	操船、漁具製作 実習船整備
7月1日～7月30日	基本的な結び方、三編み、石・玉からめ 各種ロープ(サザンクロス、ワイヤー)の接合 漁網補修技術、結索標本製作	かご、さし網、釣り	操船、実習船整備

表 3 視察

月日	視察先
6月8日	公益社団法人青森県栽培漁業振興協会
6月22日	鱈ヶ沢町アユ・イトウ養殖場、海の駅『わんど』、試験船青鵬丸

表 4 資格取得講習

資格	開講期間	開催場所	受講者数	合格者数	備考
一級・二級小型船舶操縦士	8月20日～8月24日	水産総合研究所	一級 4 二級 2	一級 4 二級 2	
潜水士	9月7日～9月10日	ゆーさ浅虫	1	1	「賓陽塾」研修生以外の受講者：19名 試験日及び会場：9月12日、私立青森大学
第三級海上特殊無線技士	10月28日	八戸水産会館	1	1	「賓陽塾」研修生以外の受講者：34名

表 5 出前講座

月日	開催場所	受講者の所属等	受講者数	講座内容
10月28日	東通村役場	東通村漁業連合研究会	7	基本的な結び方、飾り結び
1月25日	平内町漁業協同組合浦田支所	浦田漁業研究会	12	基本的な漁網補修技術

通常研修実施状況



講義(ほたて貝天然採苗技術について)



ロープワーク(三よりロープさつま加工)



さし網漁業実習



視察
(公益社団法人青森県栽培漁業振興協会)

選択研修実施状況



小型船舶操縦士資格取得講習(実技)

出前講座実施状況



基本的な漁網補修技術
(平内町漁業協同組合浦田支所)